



待たれる早期着工



いざという時の準備

## 大乗寺バイパスⅡ期工事の進捗は 機会を捉えて陳情に行きます



西川 誠一議員

1998年、平成10年10月29日に大乗寺橋が一部崩壊した。そのことにより大乗寺バイパス

実現の機運が高まった。

この県道は防災面、産業面でも町の基本となる香住と村岡・小代を繋ぐ重要な道であり、県道4号線沿い企業群等からも「大乗寺バイパスⅡ期工事早期着工について」という嘆願書が届けられた。現時点の進捗状況及び

今後の予定を問う。

町長 Ⅰ期工事として平成27年に森区から加鹿野区間が供用開始されていますが、大乗寺バイパスⅡ期区間については、現時点では事業化に至っていません。また、兵庫県の但馬地域社会基盤整備プログラムにも、着手完了時期



が記載されていません。現在まで様々な機会に要望を重ねていますが、今後、地元企業等の地域活性化の取組と連携し、令和5年度には、地元や企業代表とともに直接県に要望活動等を行います。

## 大停電の教訓は生かされたか

### 生かされたと認識しています



藤井 昌彦議員

令和2年の大雪で倒木による大停電があり、本年も1月28日から翌日にかけて、同じ要因で停電があった。  
①前回の大停電から教訓は生かされたか。  
②年次計画的に電線付

近の雑木の間伐、伐採する考えはないか。

- ③集中した短時間での積雪対応について。
- ④凍結、断水対応は。

#### 町長

①停電の状況を逐次、行政無線で流すなど、あらゆる対応で前回の教訓は生かされました。

②まず、森林は土地所有者が管理していただき、電線付近の倒木予防は、関西電力送配電や町事業で主要な国道9号線沿線の伐採

を兎塚地区から行っています。

- ③除雪業者に委託し全力で道路通行を確保していただいています。
- ④定期的な漏水確認、長期使用しない場合の閉栓、冬場の水道管凍結防止対策等の周知を行います。

